公益社団法人霧島青年会議所　２０１９年度　第三回　理事会　議事録

開 催 日：平成３１年３月２６日（火）

開会時間：２０時００分

閉会時間：２３時００分

開催場所：ＪＣ会館

1. 開会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　重野　隆太　 君
2. JCIクリード唱和　　　　　　　　　　　　　　　板元　幸仁　　君
3. JCIMISSION及びJCI Vision唱和　　　　　　盛田　啓仁　　君
4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和　　　　　　　　　　鈴吉　美絵　　君
5. 霧島JC未来ビジョン唱和　　　　　　　　　　　木野田　幸平　　君
6. ２０１９年度スローガン唱和　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　同上
7. 理事長挨拶

理事長　藏元　国明君

　本日もお集まり頂きありがとうございます。まずは、仮会員の承認が本日も上程されております。板元委員長をはじめ成果があがっているところでありますが、拡大は会員全員で取り組まなければいけないことであると思います。青年会議所の活動に自信をもって拡大・周知認知に取り組んで頂けましたらと思います。話変わりまして先日、日本青年会議所の総会に出席して参りました。会頭の話の中で青年会議所の組織は青年会議所の会員にしか変えることができないという話がありました。本年、率先垂範のもと意識を高く持ち霧島青年会議所を良い方向に変えていこうと様々な取り組みをして頂いているところであります。この取り組みを続けて今後も活動運動を広げていくことで認知や共感の輪が広がっていくかと思います。また本日、上程予定の議案がでていないものもあります。こちらに関しては正副、担当副理事長の判断で取り下げさせて頂きました。理事会の場は委員会でありません。共感を得る事ができない内容であれば上程する意味がないと思っておりますので副理事長の方々は指導をして頂き、委員長に関しましては、活発な委員会運営を行い意見集約したうえで議案を作成して頂けましたらと思います。

1. 直前理事長挨拶

欠席のため割愛

1. 顧問挨拶

遅刻のため、参加次第。

１０． 議長選出

審議事項：理事長　藏元　国明

協議事項、報告事項：専務理事　前田　大悟

１１．議事録作成人並びに署名人の指名

議事録作成人：橋事務局長

　　　議事録署名人：木野田副理事長、板元委員長

１２．出席者及び定足数の確認

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 藏元国明 | 〇 | 鈴吉美絵 | ○ | 木野田幸平 | ○ | 田上俊介 | 〇 | 重野隆太 | 〇 |
| 板元幸仁 | 〇 | 盛田啓仁 | ○ | 前田大悟 | 〇 | 南郷英俊 | ○ | 橋正貴 | 〇 |

　　理事１０名中１０名出席により定足数を充たしていることを確認した。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 前田数馬 | × | 竹下圭一郎 | × | 井上正樹 | ○ | 常盤大和 | ○ |
| 東井上陽平 | 〇 |  |  |  |  |  |  |

　　役員５名中、現段階で３名出席により定足数を充たしていることを確認した。

オブザーブ参加　若宮君

１３．議題並びに資料の確認

審議事項４件　　協議事項４件　　連絡・報告事項２件　となっております。

１４．議事録承認の件

鈴吉　　：誤字脱字、文章構成について指摘させて頂き修正と確認したことを報告させて頂きます。

重野　　：確認し、不備なきことをご報告させて頂きます。

１５．議題

審議事項１：仮会員承認に（高橋　理一君）の件

藏元　　： 確認につきましては仮会員３名同時に行います。

木野田　： ３名の仮会員承認の方を上程させて頂いております。詳細は委員長より説明致します。

板元　　：今回３名の方の仮会員承認について上程させて頂きました。前田君の資料に関しまして、印鑑漏れがありまして原本を閲覧でまわさせて頂いております。よろしくお願い致します。

藏元　　：それでは、それぞれの推薦人より一言お願い致します。

板元　　：高橋君につきましては先日のゴルフコンペにて会員と関わる機会となり次の日連絡したところ入会の意思がありました。本人もやる気で、仮会員の濱田くんとも仕事上の付き合いもあるとのことで積極的な参加が見込まれております。

田上　　：前田くんにつきましては、非常に自己成長に興味があるとのことで入会しても精力的に活動をされると思います。

木野田　：徳重君は、２１歳で自ら仕事も立ち上げられた方でＪＣでも積極的に活動してくれると思われます。

藏元　　：他になきようでしたら、審議に諮りたいと思います。承認に関しましては、それぞれで行いたく思います。

全会一致で審議可決

審議事項２：仮会員承認について（前田　裕貴君）の件

藏元　　：審議

全会一致で審議可決

審議事項３：仮会員承認について（徳重　孝二君）の件

藏元　　：審議

全会一致で審議可決

藏元　　：仮会員も９名と増えてきておりますが、フォローをしっかりとして頂くようお願い致します。また、仮会員の預かりであります板元委員長の方には、しっかりと情報を仮会員に落として頂けましたらと思います。

審議中ではありますが、参加者が増えておりますので出欠をとりたいと思います。

出席確認：竹下圭一郎君

顧問挨拶

顧問　竹下圭一郎君

竹下　　：まずは３回目の理事会となりますが、皆様におかれましては時間の都合をつけて頂き感謝申し上げるとともに遅参してしまい申し訳ございません。いよいよ２０１９年も四分の一が終わります。拡大に関しては、素晴らしいスピードで拡大できておりますが一番大切なことは共感者を増やすことです。人が増えたから共感者が増えた訳ではないので委員長さん方はそこをしっかりと考えて頂きたく思います。共感とは何かと言いますと運動に協力、参加してもらうことが大切ですので新入会員の方にしっかりと仕事や役割を与えるようにしてください。前回、物事の本質や優先順位について伝えさせて頂き今回の議案に関してしっかり対応できていると思いますが、その次に大切なことについて板元委員長の議案の際に話をさせて頂こうと思います。先日の例会の出席率に関して悪くないが良くもない。会員の期待に対しての設えができていたのか？来る人に対してワクワクすることがあったのか？議案を通すことが理事会の目的ではないです。議案を作成するにあたり会員がワクワクするような内容になっているかを考えて頂きたい。まだ議案を熟すだけになっているのではないかと思います。盛田委員長や重野委員長は、自分の見識を高めるために県外に行っております。まず自らの成長がなければ会員の成長はないということを意識しながらやって頂きたいと思います。本日もよろしくお願い致します。

前田（大）：それでは審議案件に戻ります。

審議事項４：２０１９年度　５月例会計画書並びに予算書（案）の件

木野田　：５月例会はシニアとの合同例会とさせて頂いております。指摘につきまして対応をさせて頂いております。詳細は委員長より説明致します。

板元　　：５月の現役シニア合同例会になります。前回正副等ご意見ご指摘対応させて頂いております。

南郷　　：予算を確認させて頂きました。前回の指摘事項の修正並びに原本の確認もとれており不備なきことを報告させて頂きます。

東井上　：意見なのですが、会務報告の際に仮会員紹介を入れて頂けましたらと思います。

藏元　　：その件に関しましては、先に４月例会もありますので検討頂けましたらと思います。

竹下　　：前回、意見をもらいたいポイントについて話をさせて頂いたのですが、今回工夫と効果に意見が欲しいとのことであるのですが、この計画書で何が工夫されていてどんな効果が予想されるか端的に教えて頂けますか？

板元　　：今回の工夫に関してはシニアクラブと合同で実施するにあたって会員がシニアの先輩より遅く来ることを避けたいと考えております。

竹下　　：委員長全体に話をしたいのですが、この議案で出席率の向上が見込めるか疑問です。目的に対しての議案ではあるのですが、例えばこの例会のテーマはなんですか？

板元　　：例会のテーマとしては先輩方との交流と考えております。

竹下　　：今回の議案はこれで良いですが、目的とテーマをわかりやすく掲げると周りがわかりやすいと思います。前回の３月例会もテーマがハッキリしてないので、何がしたかったのかわからないまま終わってしまった。ちなみに３月例会のテーマは何だったのですか？

板元　　：ＪＣの存在意義を共有することでした。

竹下　　：テーマがないと内容がわからない。目的とテーマがしっかりとあると集められて話し合いをしたけど、なんだったのかとはならないと思います。できればシニアとの交流でなく、シニアとの交流の先に何があるのかを考えてテーマを設定してもらえればと思います。

板元　　：しっかりとテーマをもって話をしていきたいと思います。

藏元　　：今の意見は他の委員長、並びに副理事長の方もしっかり把握して進めてください。

前田(大)：補足ですが、シニアの案内文に関してはシニア会長並びにシニア事務局に確認頂いております。

藏元　　：他に無きようでありましたら審議を諮りたいと思います。

全会一致で審議可決

藏元　　：今、委員長からもありましたが、今年度なぜ２カ月前に審議をとっているのかを考えてリハーサルや事前準備をしっかりと行うようにお願い致します。

木野田　：休憩動議

セコンド　板元　重野

２１：４５まで休憩となる。

協議事項１：２０１９年度啓発事業　広報誌政策計画並びに予算（案）について

木野田　：前回の理事会でご意見がありました順番という部分について広報誌も含めた年間を通しての広報戦略として上程させて頂きます。詳細は、板元委員長より説明致します。

板元　　：前回から大きく手法を変更させて頂きました。指摘と対応を確認のうえお目通し頂けましたらと思います。修正点として、手法説明の中で広報に使用するＳＮＳのターゲット・発信する時間帯など事前調査をもとに実施していくことを資料添付の上記載させて頂いております。

前田(大)：協議ポイントを確認の上、ご意見ご指摘ございましたらお願い致します。

竹下　　：戦略とはどの様な意味か教えてください。

板元　　：何かを興す前の計画や準備と心得ております。

竹下　　：少し違うかと思います。サッカーに例えると戦略は戦う術だと思います。どこから攻めるか考えるのが戦略だと思います。この議案を見るとターゲットを絞れており情報の収集は出来ていると思いますが、これを基にどの様にするのかがないです。わかりやすく説明するとテーマがないから何を軸に進めていくのか見えてきません。質問ですが、この啓発事業におけるテーマはなんですか？

板元　　：ＪＣの認知を図るというテーマで考えております。

竹下　　：それは目的です。以前やった事業のハロウィンでも毎年テーマがありましたが、どの様なものがありましたか？

板元　　：みんなで作ろう、楽しいまちです。

竹下　　：では、先ほどのＪＣの認知を図るというものとの違いがわかりますか？

板元　　：ハロウィンのことではなく、まちを指している部分が違います。

竹下　　：そうです。その観点が抜けているので、なんのためにするのかが見えません。テーマが委員会活動をしていくうえで道標になると思う。このためにやっていると再確認ができる。この計画書は、やることしか記載されていないので、これを伝えることによって、どのようにこの地域に何を伝えてそして結果として霧島ＪＣはどの様に見られて、何を動かすのかを考えてもらえたらと思います。自分のためではなく周りの人に対して何をしないといけないのかテーマ選定をしてください。

板元　　：おっしゃる通りだと思います。今後の計画の参考にさせて頂きます。

重野　　：議案の中に広報の数的目標が記載されていますが設定の理由がありましたら教えてください。

板元　　：他の団体のフォロワー数を上回る数字で目標設定させて頂きました。

重野　　：とてもわかりやすい目標であると思います。

盛田　　：工夫の４について、どのようなものなのか教えてください。

板元　　：現在使用しているフェイスブックやＹＯＵＴＵＢＥなど、登録にお金がかからないものに関してはすべて活用するという認識でこの様に記載させて頂きました。またＳＮＳのフォロー数を増加するためにアプリ等を使用する考えでいます。

常盤　　：対内目的について、どの様に達成するのか教えてください。

板元　　：広報の意識を変えるという部分でありますが、今回のＳＮＳに関しては、霧島ＪＣが発信することに対して会員が使用しているＳＮＳで「いいね」やシェアして頂くことで拡散でき、多くの人に情報を届けられると考えております。

常盤　　：今の内容を具体的に会員にどの様にしてもらうのかを考えてください。毎年、投げっぱなしで出来ませんでしたが多い部分ですので会員の意識をどの様に変えるのかという部分も考えて小議案の中では考えてもらえましたらと思います。外に広げるにあたって重要なことだと思いますし、どちらも共感の輪を広げることであると思いますのでお願い致します。

板元　　：ありがとうございます。

井上　　：顧問の意見と近いかもしれないですが、指摘対応に来年度以降にどの様に引き継ぎますか？という部分でアカウントを引き継ぐとなっているが、やり方を引き継ぎという意味での指摘ではないと思います。テーマをもって将来的にどのようにするのか？どのように広げていくのかのイメージを引き継いでいく意味合いだと思いますので、今後の小議案の中では、イメージをどの様に伝えていくのかを考えてもらえましたらと思います。

板元　　：引き継ぎ方についてもまた考えたいと思います。

竹下　　：今の意見に補足ですが、戦略だから仕組みを作らないといけない。誰の確認のもとで、どのタイミングで誰がアップするのか決まっていますか？広報の戦略なので、報告では駄目だと思います。記事をアップするまでに誰の確認でするのか。例えば例会の中で集まった会員にその場でシェアしてもらう等の仕組みがあると来年以降も続いていくと思いますので、その仕組みをしっかりと考えてください。どのタイミングで誰の責任のもとするのかを議案に反映してください。

前田(大)：先日、本会からもコンプライアンスについて質問がありましたが、人数が少ない中で執行部確認していると伝えております。あと今現在インスタやフェイスブックを登録している会員数は把握していますか？戦略としてやっていくのであれば全会員登録する必要があると思います。

木野田：審議繰り上げ動議

セコンド　橋　重野

全会一致で審議繰り上げとなる。

板元　　：今回、予算のかからないＳＮＳを活用しての部分での審議とさせて頂いております。今後、進めていく中でテーマを設ける等していきたいと思います。

藏元　　：他にご意見なきようでありましたら審議を諮りたいと思います。

全会一致で審議可決となる。

藏元　　：今、皆さんから頂いた意見に関しては、次回小議案に反映してもらえましたらと思います。顧問からもありましたが、テーマについてはわかりやすさが必要だと思いますので意識頂けましたらと思います。１年間で共感の輪が広がると思っておりません仕組みづくりや意識付けが今年度で出来る様に取り組んで頂けましたらと思います。

協議事項２：２０１９年度　６月例会計画書並びに予算書（案）について

鈴吉　　： ２回目の議案上程となります。メインの社会人基礎力については変わらないですが正副でも、ご意見があり講師ではなく委員会で学んだうえで皆さんに発信したいと考えております。詳細は委員長より説明致します。

重野　　：副理事長からもありましたが、６月例会は委員会の方で学んだうえで行いたく思います。４月の２週目に当時依頼していた塚田さんが来鹿する予定でありますので、委員会メンバーで出向いたうえでアドバイスを頂き学んできたいと考えております。

前田(大)：協議ポイントを確認の上、ご質問・ご意見ありましたらお願い致します。

盛田　　： 参加促進方法ところで、興味をひく案内とありますが、どの様なものですか？

重野　　：３月例会でもＳＮＳにアップしたのですが、例会のテーマや目的等の概要書を発信しようと考えております。

盛田　　：ありがとうございます。

板元　　：重野委員長は、一度社会人基礎力の講演を聞いているのですか？

重野　　：塚田さんの講演には参加したことはありませんが、資料の確認と直接お会いして話をさせて頂いております。

板元　　：興味深い内容なのですが、６０分で伝えられる内容なのでしょうか？

重野　　：資料を基に委員会で作成していくのですが、親近感の湧くような形で時間内に終える内容にしたいと思います。

木野田　：社会人基礎力を改めて説明してください。

重野　　：２００６年に経済産業省が作り上げたもので、高齢化を背景に２０１８年に見直しがされました。社会人基礎力とは行動力・チームワーク・計画力であります。

木野田　：とても大切なことだと思いますので、参加促進をしっかりと考えて多くの会員で学ぶ事ができましたらと思います。

田上　　：社会人基礎力の中身の資料があり大変おもしろい内容なのかなとは思うのですが、事業計画の中で率先垂範ということで主体性に特化した形で時間をとっているのでしょうか？

重野　　：主体性をメインに話をする中で社会人基礎力とは何かという部分に触れていきたいと考えております。

田上　　：研修事業への参加促進を考えていると思いますが、なぜ主体性に注力する形で行うのか教えてください。

重野　　：社会人基礎力が１日かけて実施するもので、すべてを網羅することが難しいなかで本年のスローガン率先垂範にあるように主体性について例会では行いたいと思っております。

田上　　：中身について具体的にしていくなかで詰められていくとは思うのですが、研修事業にスムーズに入れるように今回設定されていると思いますので、事業で説明しない部分を入れた方が良いと思いまして質問させて頂きました。

東井上　：案内文に関して、下の方で数宇の半角がありますので全角統一での対応をお願いします。もう一点ですが、実施組織のところで重野委員長が司会となっていますので検討をお願いします。

井上　　：重野委員長の色をもう少し出して参加促進を考えて色々なことに挑戦して頂きたいと思います。

重野　　：検討させて頂きたいと思います。

東井上　：１１番項にＳＤＧｓについて記載があるのですが、番号だけでは意味がないと思います。

重野　　：ゴールに対しての繋がりを記載してきます。

東井上　：ゴールを設定するのであれば、どの様にして達成するのかまでルールを決めて頂けましたらと思います。

藏元　　：その件につきましては、正副の方でブロックや本会の進め方を参考に検討しフォーマットの作成をしたいと思います。

南郷　　：案内文ですが、季語に誤りがありますので修正をお願い致します。

重野　　：修正して参ります。

橋　　　：委員会で研修を行う形でありますが講師打合せはどのように考えておりますか？

重野　　：冒頭説明させて頂きましたが、鹿児島の方で予定しております。

橋　　　：その際に、内容も決まってくるかと思いますが、最終的に何を伝えるのか？誰がどのように研修を実施するのかを参考資料等で追加して頂けましたらと思います。

前田(大)：色々と動かれている委員長でありますが、内容を聞いて藏元理事長が想い描いていることができそうでしょうか？

重野　　：社会人基礎力の主体性といく部分が理事長の想いと一致していると考えます。

前田(大)：青年経済人には主体性が必要なのでしょうか？委員長が社会人基礎力に感銘しているのはわかるのですが、会員は社会人基礎力と言ってもわからないと思います。他議案でも意見がありましたが会員のわかりやすいテーマ設定が必要であると思います。

重野　　：ありがとうございます。

常盤　　：今意見もありましたが、この例会を研修事業の為にするのかを今一度考えて今回の例会をどの様な位置づけで実施するのかを決めた方が良いと思います。今が作ることで一生懸命になっていると思いますので、会員に対して何を伝えたいのかを俯瞰的に考えてみてください。

重野　　：何が重要であるかを精査して参ります。

竹下　　：推進方法にある興味のあるという部分について案内文のどこにあたりますか？

重野　　：案内文ではなくＳＮＳを通じて発信しようと考えております。

竹下　　：それは誰が確認するのですか？

重野　　：委員会でと思っておりました。

竹下　　：委員会で判断する事なのか、理事会で判断するのかの基準が曖昧で情報発信が無駄に多いと思います。何が公式なのかがわかりません。案内文が公式な文章でないといけない理由を教えてください。

重野　　：わかりません。

竹下　　：ずっとやっているからになっていると思う。要は何の目的のために出すのかを考えて調査が足りないと思います。セミナーの案内などと同じようにチラシでも良いと思います。２点目は広報の仕方。重野委員長の得意な動画でもいいと思います。３点目は事業内容に関して足りない資料が多いです。何を持ち帰って頂きたいのか？私の認識では書き込むタイプの資料が必要だと思いますので資料で添付してください。

重野　　：資料を揃えて準備して参ります。案内文に関しては、ＦＡＸが一番良いのか一度アンケートを実施したのですが資料を添付しておりませんので再度資料を追加して参ります。

藏元　　：今、委員長がひとりで走り回って勉強をしているところだと思いますので、今後委員会メンバーで動いていくにあたり不備資料など気付きが出てくると思いますので計画に反映してもらえましたらと思います。案内文に関しては、所信にもあります改める部分は改めとありますので形を考えていければと思います。

前田(大）：以上で、２０１９年度　６月例会計画書並びに予算書（案）を閉じさせて頂きます。

板元　　：休憩動議

セコンド　南郷　盛田

２２：００まで休憩となる。

協議事項３：２０１９年度　１月通常総会報告書並びに決算書について

田上　　： ２回目の上程となります。週末となってしましましたが事前配信をさせて頂いております。詳細につきましては重野委員長より説明させて頂きます。

重野　　：修正点は特にございません。よろしくお願い致します。

東井上　：委員長所見のはじめの出だしですが、重野委員長らしいのですが、不必要かなと思いました。

重野　　：そのままでいかせて頂きたいと思います。

竹下　　：返信用ハガキでの議決についての検証と総会での説明者が前に座っている部分についての検証について記載されているところを教えてください。

重野　　：次年度への引き継ぎのはじめての試みアンケートにハイパーリンクで飛ばしております。

竹下　　：少し見にくいと思います。折角、新しいことをしているのに勿体ないです。今年度の一発目の報告書でベースとなります。２点目に所見の書き方について問題ないですが必要ないと思います。総会は通例なので残さないといけないものと変えた方が良いものをしっかりと引き継ぐ仕組みを作ってください。

前田(大)：今のところについては３名の副理事長の皆様、所見の書き方について指導をお願い致します。

鈴吉　　：本年のベースとなる報告書ですので、今の意見を反映させて今一度上程したいと思います。

藏元　　：内容としては、整ってきている中で今後の為にという部分かと思いますので少し大変かもですが、今後の報告書のために頑張って頂けましたらと思います。

前田(大)：これで２０１９年度　１月通常総会報告書並びに決算書を閉じさせて頂きます。

協議事項４：２０１９年度７月例会計画書並びに予算書（案）について

木野田　：今回の議案書に関しては例会のみで考えておりますが、審議のポイントやテーマ設定など議案としては担当副理事長として指導力不足なところがあります。会員に何を持ち帰って頂くのかを含めて考えていきたいと思います。

板元　　：７月例会は通例通りのセレモニーと内容を考えておりました。仮会員が９名入会している中でフォローアップに使用したいと考えており、仮会員のために例会終了後に職業を紹介しあう様な形で考えております。持ち帰れる部分については、プレゼン方法や話し方を身に付けてもらえればと思っております。

竹下　　：仮会員のためにとありましたが、会員名簿や仕事一覧を資料として添付するだけでも意味は出てくると思います。あと、中身のない例会に関しては参加促進に拘ってもらいたいと思います。他の人も意見を出しにくいかと思います。

板元　　：意見をもらう場ではない中で、大変申し訳ありません。再度委員会の方で話をして参りたいと思います。

常盤　　：折角するのであれば、重野委員長も調査をしていますので固定概念を外して時間や曜日など本当に集まる日はどこなのかを考えて検討して頂けましたらと思います。

板元　　：調査を参考にしながら再考させて頂きたいと思います。

前田(大)：副理事長から揉むに値しないという発言があると進めるわけにはいきません。前年度段階から例会の担当は決まっておりました。受け持ちが多いのはわかるのですが、ここは委員会ではありませんのでしっかりと共感を得られる形で上程するように責任をもって指導お願いします。

竹下　　：意見ですが、この様な内容に関しては２回協議しないといけないという事はありません。固定概念を外して１回で通すつもりで作ってきてください。そのうえで会場が変更となる際は、修正議案の提出が必要となります。

藏元　　：顧問が言われましたが内容がないのであれば１回で通しても良いと思います。会員のためにするものなので、会員の意見を集約して計画立てれば共感も得られるかと思います。よろしくお願い致します。

前田(大)：以上で、２０１９年度７月例会計画書並びに予算書（案）を閉じさせて頂きます。

監事講評

井上　　：まずは、本日仮会員承認３件おめでとうございます。 また、担当であります木野田副理事長、板元委員長ありがとうございます。本日の理事会を一言でいうとチェストかなと思います。前向きな意見が聞くことができたのかなと思います。顧問からもテーマ設定の話がありましたが、パラダイムシフトという言葉がありますが、時代に添った新しい価値観や革新的、劇的に変化させるという意味があるのですが、本日の議案に関しても案内方法や参加促進など様々な話が出ておりました。良い意味で変えていく事は大切なことであります。ただ、なんでも変えれば良いという訳ではなく本質は残しつつ時代にあわせて変えるべきところは変化させる不易流行を意識して取り組んで頂けましたらと思います。本年、拡大が良い流れできております。自己研鑚も大切ですが、今までのイメージと違って楽しそうと感じて入会した人もいたと思います。例会や事業でその様な部分が伝えられるＰＲや広報を考えていくことも一つだと思いますし、内部拡大でないですが理事役員以外の会員にも楽しさを伝える事で出席率も向上するのかなと思います。以上の部分を意識して事業計画を構築していってもらえたらと思います。

常盤　　：お疲れ様です。まずは仮会員３名おめでとうございます。担当委員会は、議案数も多く大変な時期かと思いますが、理事長が以前話をされておりましたが、自転車のこぎはじめをしっかりと行えばという言葉の通り１月から拡大に注力し、その勢いが良いサイクルを回しているのかなと思います。議案に関しましては条件付きの審議案件や上程予定の議案が上程されていないなど、躓いているのかなと感じます。今、５日間サボってしまうと８月９月に苦労をすると思います。次年度段階でもですが、前半でしっかりと頑張って頂けましたらと思います。会の運営に関しては、準備は問題ないのですが３回目ということもあり慣れが感じられます。挙手なく発言する場面が見受けられ、全体的にダラダラした様に見られます。来月以降も仮会員の方が勉強しに見に来られますのでメリハリに気をつけて次回以降開催できましたらと思います。年度末、忙しいと思いますが体調に気を付けてＪＣ活動に取り組んで頂けましたらと思います。

次回開催

平成３１年　４月　９日　　第４回正副理事長会議

平成３１年　４月３０日　　第４回理事会

１７．閉会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　田上　俊介　　君

議長・理事長（代表理事）　　　　藏元　国明　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　鈴吉　美絵　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　重野　隆太　　　　　　　　　㊞

監　　　　　　　　　事　　　　　常盤　大和　　　　　　　　　㊞